

## 第2回東北ホームタウンサミット in 新潟 報告

☆ おいしさいっぱい・もてなし新潟サミット～ようこそコシヒカリと日本酒の町へ ☆

泉田 和雄

2度目となる東北サミット、前日の夜の新潟の予報は「暴風雪」、さすがにこのときは中止かと思った。しかし、しかしである心がけのいいメンバーがいたせい翌朝はまずまずの天候、途中の会津は真っ白だったがほぼ定刻に着いた新潟は仙台より雪が少ない。駅前で昼食をとりピックスワン行きのバス停につくと、新潟のボランティア、川崎のボランティアと一緒に並ぶ、途中さっそくあれこれと情報交換。ああっ、これだなあ、これを楽しみに来たんだなあ、と思う。

サミット会場のピックスワンは何度かきているが正面入り口から入るのも、会議室に入るのも初めて、さすがに規模が大きいだけに充実している。降雪のせいで山形・甲府の到着がおくれたことで活動発表は仙台が最初になってしまう。これはウォームアップなしでピッチに立つ感じ、とうとう最後まで調子がでずに（調子がいいとどうなるかは不明）終わる。その後甲府・山形・新潟とそれぞれ工夫をこらした発表があり楽しめた。後半のJリーグ選手会の加藤さんの話しも、外からみて仕組みが出来ていると思えるJリーグの内実が垣間見れて参考になった。会場内には飲み物やお菓子も用意されていて新潟のスタッフのもてなしがうれしい。その後、場所を新潟市中心部の居酒屋に移し交流会、ここでも新潟のボランティアの方々が分担して企画を準備してくれあったかい雰囲気。活動を楽しんでいること、組織としてまとまりがあることを感じる。

二日目は和気藹々と共通のテーマについて話し合うサミットならではのディスカッションタイム、6つのグループに分かれて「ボランティアの認知を高めるために」について、私のグループはクラブからの情報発信の強化、ボランティア自身の認知アップ取組の大切さ、そして何より「ボランティアの認知アップはスポーツの振興」につながることを確認。核グループの報告を終えると早くもサミットは閉会。再会を約束して別れる。

そこからはお楽しみタイム、昼食のあとアルビレージの視察、せんべい王国というお土産の施設をまわって最後は新潟駅まで送ってもらう。何から何までお世話になってしまった。とともに来年はどんなもてなしで迎えようかと思う自分がある。今回感じたことはサッカーから始まったスポーツの継続的なボランティア活動の輪が、少しずつではあっても外に広がる可能性がみえはじけていること、だから、サミットが一巡する来年はその輪をより大きくしてみたい、市民レベルでトータルスポーツのサポートをめざすSV2004の特徴をしっかりと示したいもの。

とうほぐサミット・・・ 外は寒いけど中はあったかぽっかぽか。

村松 淳司

2年目は新潟。雪が舞い散る中、ビッグスワンへ。ここを訪れるのはしばらくぶりだったが、交通アクセスの不便さゆえ、なんだか宮城スタジアムを彷彿とさせる感じがある。でも、宮スタよりもはるかにちゃんと使い込んでいるのがよくわかる。バスの発着所、駐車場の位置看板。サインの充実など。ちょっと他人とは違う目で見えてしまうのは仕方ないか。アルビの試合では毎回4万人を超える観客でごったがえすのだから当たり前だろうか。それに日本代表戦も毎年設定されている。さらには、サッカー協会、陸上競技協会などの新潟県本部が競技場内に事務所をもっている。こういうことが、最終的にはなんとなくうまくいっている状態を作り出しているといえないか。

Jリーグ選手協会の加藤富朗さんの話は思わず楽天イーグルスの地域密着との比較をしてしまうものだった。三浦（カズ）選手のそれは有名だったが、中山（ゴン）選手の白血病少女とのエピソードは人のふれあいがベースである地域密着活動の本質を語っていて、じーんときた。懇親会の前に地元FM放送の公開生放送にいて、みんなで籠の鳥たちを応援したりした。当然、酒はんまい。甲府が持ち込んだワインをお股に抱えてのみまくっていた山形のご令嬢とともにしこたま呑んだ。ゆえに、当のご令嬢は二次会では仙台のご令嬢ともどもダウンとなられ、私もついでにダウンして惨次会への参加は見合わせた。翌日は二日酔いをおしての9時からの強行スケジュールで、「ボランティアの認知度をアップするために」「2006シーズンの抱負」と題して6つのグループに分かれてのディスカッション。二日酔いにはつらい班名の越乃寒梅Gでは各チームの話を融合させて、まず抱負として「・ボランティア活動をもっと楽しくやり、初めての方でも和める雰囲気づくりをします。・お客様のエコへの理解とマナーの向上を目指します。」を採択した。そして認知度アップについての話が始まり、予想以上の熱がこもった展開となった。みんな認知度という点で低いことが問題と考えていて、それがチーム自身の処遇（ボラをどう見るか）の問題や、観客からの認知も含めて、認知度向上によってこそボランティアの意気があがると考える人が多かった。それがひいてはボランティア活動への参加者の増加につながるはずだ。観光ツアー。新潟のご令嬢、一押しのせんべいは焼きたてが非常にこおばしくておいしかった。アルビのクラブハウスはもう“参りました”というしかない。ベガルタというよりも、私自身は総合型スポーツクラブのそれを夢見ていた。こういうクラブハウスがあれば生涯スポーツが日本でも進展することは間違いないのに。新潟の充実した2日間は幕を閉じた。次は私たちがホストだ。山形、新潟の、あったかぽっかぽかの心のふれあいを、是非、仙台でも。

小野 枝美子

前日は高速道路が止まり下道走行という情報を抱えて、仙台の 8 人、覚悟の出発と思いきや・・・余裕もって家を出たはずが一転、おみやげを忘れて取りに戻ることになるなんて年に一回あるかないかの失態がここで出るとは・・・

そうです、広瀬通のバス停で乗客の皆さんを待たせること 4 分余一升瓶と笹かまの袋抱えて、豪雪仕様のベンチコートで着ぐるみ状態のおばちゃんが長靴でよたよた走ってる姿を想像してみてください、う、うなされそうだよーめんぼくない

その後バスは難なく到着、無事に着いたら安心したのかすっかり眠くなってしまい 1 日目のお話(某じゅーわんチームの自慢話)は、すわんちゃんにもたれかかって、うとうと・・・これで充電できたせいか、懇親会はすっかり復活して利き酒代表としていい気になって越の寒梅や八海山など飲んでましたらこれまたキターという感じで酔っ払ってしまい・・・

何しに行ってたかとじぶんでも思うほどでした(苦笑)

でも、利き酒は新潟に次いで 2 位だったからいいでしょー

ついでに、方言クイズはゆったりディフェンスで仙台 1 位だったもんこいで勘弁してくないん

斉藤 千枝子

- サミットに参加してよかったこと
  - ・雪が少なく高速バスも往復スムーズに行けた。 来年も 2 月ごろが良いか判断に迷うところだが、やはり 2 月かな？
  - ・新潟も山形も新しい？メンバーが増えていて しかも生き生きと参加していて刺激になった（甲府には複雑な気持ちだった）
  - ・講演の加藤さんのお話は選手たちの違う側面を 知ることができ、本も帰りのバスで読んでしまったが 面白かった。
  - ・活動発表も懇親会も良かった。
  - ・継続した方が良いと思う。東北といっても参加したい所があれば一緒でよいと思う。
- 次の仙台サミットに向けて
  - ・すべて良かったので、責任が重い？今から、プロジェクトチームをつくって準備を？

梅森 辰一郎

- サミットに参加してよかったこと
  - 他球団（クラブ）がそれぞれ持つ課題を共有したことで、違う立場からの視点から、新しい解決策を模索できたこと。
- 次の仙台サミットに向けて など
  - 仙台の特徴、いわばサッカー以外のプロスポーツにもボランティア活動が浸透している点について、ぜひ知っていただければと思います。

## 2月4日（土）～5日（日）東北ボランティアサミット

工藤 衛

4日朝7時半、東口バスプールを新潟へ向けて出発。途中広瀬通より数名乗車。新潟へのお土産を忘れたと1名遅れて乗車。定刻を数分送れて出発。仙台宮城ICより磐越道経由で一路新潟へ。車中では夜の出しのもの為、仙台弁を選定等しながら楽しく過ごした。

11時半ごろ新潟到着。駅ビル地下で皆とお昼を食べる。12時15分新潟駅発の路線バスで新潟スタジアムへ。駅バスプールで各地ボラ仲間と合流。スタジアムに着くとすぐに受付を済ませ、会場内へ。事例発表は山形からの予定だったが、遅れていたため急遽仙台から発表することに。仙台、甲府、山形、そしてホストの新潟の順で各地の現状やボラ活動について報告。

休憩を挟み、Jリーグ選手協会事務局長の加藤様より「Jリーガーたちの社会貢献活動」というテーマで1時間弱講演を頂く。野球とサッカーの違いやサッカー界におけるボランティアの位置付けなどをわかりやすく説明頂いた。

その後、ホテルにチェックイン。荷物を置いて、懇親会会場へ場所を移す。懇親会前にボランティア数名がラジオの生放送に出演。サテライトスタジオ前はサミット参加者で公開放送の様子を眺める姿が・・・

公開放送が終了し、そのまま懇親会会場へ。ビール、地酒、ワインなどを飲みながら皆と意見交換。2時間余り楽しく過ごした。1次会終了後、場所を移して2次会、3次会とこなす人も・・・サミット1日目が終わった。

2日目。8時半、ホテルをチェックアウトして、車数台に分乗して再び新潟スタジアムへ。到着して2日目の受付へ。分科会で「ボランティアの認知度を高めるために」というテーマで討論。数班に分かれて1時間強意見交換。その後発表。最後に皆で記念撮影し、サミットは無事終了。昼食を取り、その後アルビレージへ移動。アルビレックスのクラブハウスを見学。仙台から移籍したシルビーニョや中原のロッカールームを含め普段見学できない所まで見学した。アルビレージを後にして、「せんべい王国へ」。せんべいを作る様子などが見学できた。親子連れの姿もみかけた。新潟駅まで戻り15時過ぎ解散。

16時35分新潟駅発の高速バスに乗り仙台へ。車内ではビールや日本酒、ワイン等を飲みながら過ごした。20時過ぎ、仙台へ無事到着。

感想：

仙台以外のボランティアの集まりに初めて参加したが、いろいろな意見が聞け大変有意義な2日間だった。組織は違うものの「ボランティア」という共通の話題で各地のやり方や問題点などを聞くことが出来て今後の活動にプラスになることが多かった。

来年は仙台でサミット開催されるとのことだが、今回の経験を活かし3月以降のボランティア活動に繋げていき、来年参加した時にいろいろと意見を言えるようになればと思う。参加された皆さん、2日間お疲れ様でした。

仙台よりも雪の少ない新潟を訪れるのは一昨年のオールスター戦以来となる。  
その時はオールスター・ボランティアという業務があり、ビッグスワンのバックスタンド下の構造をちょっと見ただけだった。が、今回はメインスタンドの下の管理事務所や会議室がある部分を見ることが出来た。  
使い勝手からすると、構造的に宮城スタジアムより設計が悪いように思った。コンパクトといえばコンパクトなのだが。  
さて、サミットだが、場所が変わっただけで内容は同じなどと書くと怒られそうなので書かないが、基調講演は興味ある内容で参考になった。なったと思う。なったかな。。。  
場所が変わっただけ...ということが、実は大きなことなのだろう。  
普段自分が住んでいる場所ではなかなか食べられない（飲めない）ものを堪能したり、他チームの練習設備やクラブハウスを見物出来たりと、それぞれ支えるチームが異なっても持っているプラットホームが同じ人、相通ずるものがあり、一つの舞台上でそれぞれの違いを楽しんでいるようだ。  
そのうち温泉旅館を丸ごと借り切って開催するようになるのではないかと恐れ...いや、楽しみにしている。

佐々木 昇